

「生徒」の意味

入学して今日は2日目です。これから始まる中学校生活に不安を感じている人も多いと思います。生徒会本部役員の皆さんを中心とした2，3年生の皆さんが、その不安を少しでも和らげるため、中学校生活の委員会活動や学校行事を紹介したいと、この対面式を計画しました。先ほど各クラスの代表者に手渡したきれいな花の鉢植えにも皆さんに対する上級生の思いがあふれています。本来は「対面式」というくらいですから、上級生である2，3年生と、1年生が一堂に会し「対面」する会であるはずなのですが、新型コロナウイルス感染防止の観点から、上級生の代表者だけが会に参加することになっています。

皆さんは、小学校と中学校の違いをいくつ挙げることができるでしょうか。たくさんある中の1つは、皆さんの呼称（呼び方）が変わることがあります。ところで、「生徒」とはどのような意味なのでしょう？漢字の一つ一つには、必ず意味があります。「徒」（徒と書いて掲示する）にも意味があるのですが、その中の2つを紹介します。1つは「仲間」という意味です。もう一つは「自分の足で歩く」という意味です。歩くというのは「徒歩」という言葉もありますから、なんとなくイメージできると思います。このことから、「生徒」という言葉には「仲間同士で支え合いながら、一人一人が自分の足で、自分の考えで生き生きと歩いていってほしい」という思いが込められているように私は感じています。

この後、上級生から紹介される委員会活動や学校行事は、まさに「生徒」という言葉の意味にぴったりの活動です。少し、言い方を換えれば、委員会や学校行事を通して、本物の「生徒」に近づいていくのかもしれない。

三尻中学校では、授業の中でも、委員会活動や学校行事でも、後日改めて紹介する部活動でも、学校生活のあらゆる場面で、生徒の皆さんが中心となって活動することを、とても大切にしています。私自身も、皆さんがこれからの学校生活で、生き生きと歩いていく姿をみることを楽しみにしています。

それでは、これから、対面式が始まります。有意義な会にしてください。